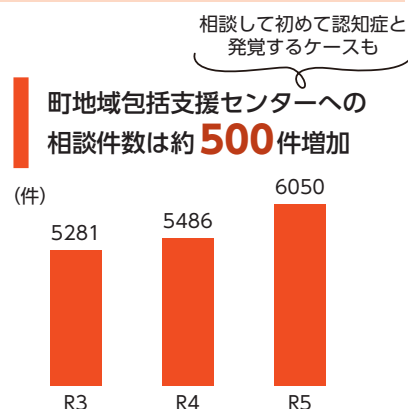
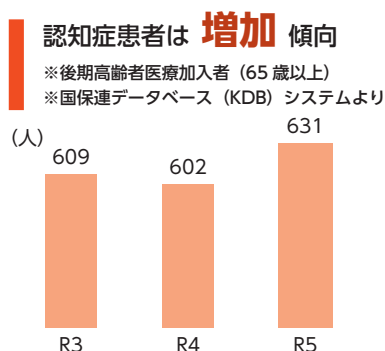


認知症かな？と思ったら 町地域包括支援センターへ

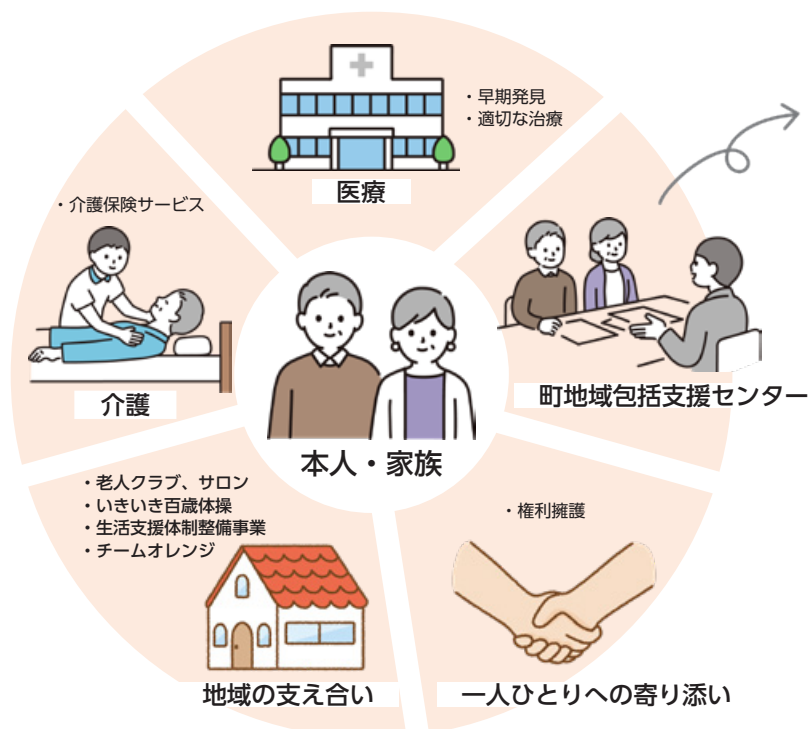
町地域包括支援センター ☎ 34-2104

町の現状

高齢化の進展に伴い令和7年には、65歳以上高齢者の約5人に1人が認知症になると見込まれています。町の地域包括支援センターでの相談件数においても年々増加しています。住み慣れた地域で暮らしていくことができるように地域づくりを推進しています。



地域で支え合うしくみ～安心して暮らせるまち～



町地域包括支援センター

相談内容に応じて、関係機関と連携し、適切なサービスや制度の利用につながるよう支援します。気になることがあれば、まずは町地域包括支援センターにお問い合わせください。

CHECK

認知症の初期症状

- 趣味を楽しめなくなる
- 買い物の支払い計算が難しい
- 外出しなくなる（活動量が減る）
- 怒りっぽくなる

早期発見・早期治療で進行を遅らせることができます



高齢者の尊厳を大切にします



町地域包括支援センターへ権利擁護における相談や認知症が原因で虐待に繋がる事例が増加しています。



認知症になっても、高齢者本人の気持ちを大切に、安心して過ごせるための事業を実施しています。

中核機関の設置

認知症で自分の意思を伝えることができない、判断能力が低下して金銭管理が困難な人の支援をするための権利擁護支援・成年後見制度利用促進機能の強化に向けた機関の設置。

意思確認シート

自分が大切にしていること、希望にあった人生を送ることができるよう本人を取り巻く家族または親族、地域のケアマネジャーなど関係者や知人、友人が支援する仕組みづくり。

磯城野高等学校×町地域包括支援センター

「オレンジガーデン」が誕生！



8月21日(水)、福祉交流花壇「オレンジガーデン」を役場西側に作りました。オレンジ色には「認知症の人を支援します」という意味が込められています。

認知症の相談はまずはこちらへ

町地域包括支援センターの活動



認知症地域支援推進員

認知症予防事業、普及・啓発活動

予防 啓発

- ・ 認知症予防教室
- ・ 講演会、出前講座
- ・ 認知症サポーター養成講座（自治会、中学・高校で実施）
- ・ 地域住民との交流



▶ RUN伴+ 2023の様子

相談

認知症地域支援推進員による相談

本人や家族のそれぞれの悩みに寄り添い、今後のことについて一緒に考えます。



初期 対応

認知症初期集中支援チーム

自宅を訪問し、適切な医療・介護のサービスの紹介や、困りごとに対して一緒に解決策を考えるなど一定期間集中的に支援します。

交流

本人やその家族の交流の場の促進

- ・ オレンジカフェ（認知症カフェ）

オレンジカフェ☆トモルテ

- 日時** 10月31日(木)
- 時間** 午後1時30分～2時30分
- 場所** トモルテたわらもと2階
- 対象** 認知症に関心のある人
- 定員** 5組（先着順／要申込）
- 費用** 300円（ハーブティー代）
- 図・申込** 町地域包括支援センターへ

参加者からの声



「寄り添う自分自身も大切に」一息つける場所になりますように。